



# ローカリゼーションサポート

この章では、英語以外の言語に対する Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) のローカリゼーションサポート、および米国特有ではないネットワークのトーンと断続周期について説明します。

- [ローカリゼーションについて \(1 ページ\)](#)
- [SCCP 電話機のローカライゼーションサポートの構成 \(6 ページ\)](#)
- [SIP 電話機でのローカリゼーションサポートの構成 \(23 ページ\)](#)
- [ローカリゼーションの設定例 \(34 ページ\)](#)
- [SCCP 電話機のロケールインストーラの構成例 \(37 ページ\)](#)
- [次の作業 \(41 ページ\)](#)
- [ローカリゼーションサポートの機能情報 \(41 ページ\)](#)

## ローカリゼーションについて

### Cisco Unified Cisco Mobility Express でのローカリゼーション機能強化

Cisco Unified Cisco Mobility Express はフランス語ロケールをサポートしていますが、フランスのフランス語とカナダのフランス語では一部のフレーズが異なります。Cisco Unified Cisco Mobility Express 9.5 で正しいロケールパッケージがインストールされている場合、カナダのフランス語が Cisco Unified SIP IP Phone および Cisco Unified SCCP IP Phone のユーザー定義ロケールとしてサポートされます。



(注) BLF、SNR、Cisco Mobility Express などの一部の略語はローカライズされていません。

#### 前提条件

- Cisco Unified Cisco Mobility Express 9.5 以降のバージョン
- ロケールパッケージバージョン 9.5.2.6 が必要です



**制約事項** ローカリゼーションの拡張機能はすべて、Cisco Unified Cisco Mobility Express でのみサポートされています。これらは Cisco Unified SRST ではサポートされていません。表 1: ユーザ定義ロケールの言語コード (2 ページ) は、ロケールファイルのファイル名で使用される言語コードを示しています。

表 1: ユーザ定義ロケールの言語コード

言語	言語コード
フランス語 (カナダ)	fr_CA

構成情報については、[ユーザー定義のロケールのインストール \(11 ページ\)](#) を参照してください。

## システム定義ロケール

Cisco Unified CME には、英語など 12 の言語、および米国など 16 の国のシステム定義のローカリゼーションサポートが組み込まれています。ネットワーク ロケールでは国独自のトーンと断続周期が指定され、ユーザ ロケールでは、テキスト表示に使用する言語が指定されます。

システム定義のロケールの設定は、IP Phone のタイプに応じて異なります。

- Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7940、および 7960 : システム定義のネットワーク ロケールおよびユーザ ロケールは、Cisco IOS ソフトウェアに事前にロードされています。外部ファイルは不要です。 **network-locale** および **user-locale** コマンドを使用して、これら電話機のロケールを設定します。
- Cisco Unified IP Phone 6921、6945、7906、7911、7921、7931、7941、7961、7970、7971、8941、8945、および Cisco IP Communicator : システム定義のロケールをサポートするロケールファイルをダウンロードし、そのファイルをフラッシュメモリ、スロット 0、または外部 TFTP サーバに保存する必要があります。「[Cisco Unified IP Phone 6921、6945、7906、7911、7921、7931、7941、7961、7970、7971 および Cisco IP Communicator 用のシステム定義ロケールのインストール \(6 ページ\)](#)」を参照してください。
- Cisco Unified 3905、6941、6945、8961、9951、および 9971 SIP IP Phone : システム定義のロケールをサポートするロケールファイルをダウンロードし、そのファイルをフラッシュメモリ、スロット 0、または外部 TFTP サーバに保存する必要があります。



(注) Cisco Unified SIP IP Phone に対してローカリゼーション用の TFTP エイリアスが自動的に作成されることはありません。TFTP エイリアスの手動作成方法については、「[Cisco Unified IP Phone 8961、9951、9971 用システム定義ロケールのインストール \(23 ページ\)](#)」を参照してください。



- (注) Cisco Unified Cisco Mobility Express 10.5 リリース以降、システム定義ロケールは廃止され、ユーザー定義ロケールが推奨されます。

Cisco Unified 3905 SIP IP Phone および Cisco Unified 6945、8941、および 8945 SCCP IP Phone では、Cisco Unified CME 8.8 までのすべてのロケールがサポートされます。

## Cisco Unified SIP IP Phone のローカリゼーションサポート

Cisco Unified CME 8.6 では、英語など 12 の言語、および米国など 16 の国のシステム定義のローカリゼーションサポートが提供されます。ネットワーク ロケールでは国独自のトーンと断続周期が指定され、ユーザロケールでは、テキスト表示に使用する言語が指定されます。ユーザ定義ので追加のローカリゼーションサポートを作成してください。ユーザー定義ロケールの詳細については、「[ユーザー定義ロケール \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョンでは、ローカリゼーションが拡張され、Cisco Unified 6941 および 6945 SIP IP Phone がサポートされるようになりました。

**load** コマンドは、ユーザー定義ロケールとシステム定義ロケーションの両方をサポートします。



- (注) ロケール ファイルは、構成ファイルと同じ場所に保存する必要があります。

## ユーザー定義ロケール

ユーザ定義のロケール機能では、Cisco IOS ソフトウェアで事前定義されているシステム定義のロケール以外のネットワークおよびユーザロケールをサポートできます。たとえば、システム定義ではない中国語（繁体字）の言語およびトーンの使用が必要な電話機がサイトにある場合、中国語（繁体字）のロケール ファイルをインストールする必要があります。

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョンでは、特定のユーザおよびネットワーク ロケールをサポートするファイルをダウンロードし、そのファイルをフラッシュメモリ、スロット 0、または外部 TFTP サーバに保存できます。これらのファイルをシステムロケーションに保存することはできません。ユーザ定義のロケールはすべての電話機に割り当てることも、個々の電話機に割り当てることもできます。

ユーザーロケール用ユーザー定義言語コードは、ISO 639 コードに基づきます。これは、<http://www.loc.gov/standards/iso639-2/> のアメリカ議会図書館の Web サイトから入手できます。ネットワーク ロケールのユーザ定義の国コードは ISO 3166 コードに基づいています。

構成情報については、[ユーザー定義のロケールのインストール \(11 ページ\)](#) を参照してください。

## 電話機の表示のローカリゼーションサポート

Cisco Unified IP Phone 8961、9951、および 9971 では、IP Phone のタイプ (.jar) 用のロケールファイルまたは Cisco Unified CME のディクショナリ ファイルによって管理されるメニューとプロンプトがローカライズされます。Cisco IOS コマンドによって設定された表示オプションはローカライズされません。

次の表示項目が、IP Phone (.jar ファイル) によってローカライズされます。

- 機能ボタンでアクセスされるシステムメニュー（たとえば、メッセージ、ディレクトリ、サービス、設定、情報）
- コール処理メッセージ
- ソフトキー（Redial や CFwdALL など）

次の表示項目は、Cisco Unified CME のディクショナリ ファイルによってローカライズされます。

- ディレクトリ サービス（ローカル ディレクトリ、ローカル短縮ダイヤル、および個人短縮ダイヤル）
- ステータス行

Cisco IOS コマンドによって設定された表示オプションはローカライズされず、英語だけで表示できます。たとえば、次のような機能が含まれます。

- 発信者 ID
- ヘッダー バー
- 電話ラベル
- システムメッセージ

## 複数のロケール

Cisco Unified CME 8.6 以降のバージョンでは、最大 5 つのユーザ ロケールおよびネットワーク ロケールを指定し、ephone テンプレートを使用して複数のロケールを個々の ephone または ephone のグループに割り当てることができます。たとえば、電話機 A、B、および C にフランス語を指定し、電話機 D、E、および F にドイツ語を指定し、電話機 G、H、および I に英語を指定することができます。ユーザー 1 人とネットワークロケール 1 つのみを各電話機に適用できます。

マルチロケールシステムで定義できる 5 つのユーザロケールおよびネットワークロケールは、それぞれがロケールタグによって識別されます。タグ 0 で識別されるロケールは常にデフォルトロケールです。サポートされる任意のロケールをこのデフォルトとして定義できます。たとえば、JP（日本語）をユーザロケール 0 として定義する場合、すべての電話機のデフォルトユーザロケールが JP になります。タグ 0 のロケールを指定しなかった場合、デフォルトは US（米国）です。

代替のロケールを複数の電話機に割り当てるには、電話機ごとに構成ファイルを使用して各電話機の構成ファイルを作成する必要があります。構成ファイルでは、自動的にデフォルトの `user-locale 0` および `network-locale 0` が使用されます。代替のロケールコードを設定し、ロケールを個々の `ephone` に割り当てる `ephone` テンプレートを作成することによって、個々の電話機に対してこれらのデフォルトを上書きすることができます。

構成情報については、[SCCP 電話機での複数のロケールの構成 \(19 ページ\)](#) を参照してください。

## Cisco Unified SCCP IP Phone の Locale Installer

Cisco Unified CME 7.0(1) よりも前のバージョンでは、ローカリゼーションの設定に最大 16 の手順が必要でした。そのほとんどが手動で、一部ではファイル名の変更が必要でした。Cisco Unified CME 7.0(1) 以降のバージョンでは、ロケールのインストールで次の点が改善されました。

- すべての SCCP IP Phone に対して 1 つの手順をサポートするロケールインストーラ。
- Cisco Unified CME では、新しいファームウェアロードテキストファイルが解析され、自動的にローカリゼーション用の TFTP エイリアスが作成されて、TAR ファイル内のファイル用に最大 5 つのエイリアスを手動で作成するという要件が不要。この機能を Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.0(1) で使用するには、すべての電話機タイプ向けの電話機ファームウェアバージョン 8-2-2 以降用の `load` コマンド構成時に、ファイルのサフィックスを含む完全なファイル名を使用する必要があります。例：

```
Router (config-telephony) # load 7941 SCCP41.8-3-3S.loads
```



- (注) Cisco Unified CME 4.3 以前のバージョンでは、Cisco ATA と Cisco Unified IP Phone 7905 および 7912 を除く電話機タイプに対して、ファイルのサフィックスを含めないでください。例：

```
Router (config-telephony) # load 7941 SCCP41.8-2-2SR2S
```

- Cisco Unified CME 7.0 以前のバージョンのコンフィギュレーション方式との下位互換性。

構成情報については、[Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.0\(1\) 以降のバージョンでのロケールインストーラの使用 \(15 ページ\)](#) を参照してください。

## Cisco Unified SIP IP Phone の Locale Installer

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョンでは、Cisco Unified SIP IP Phone のロケールをインストールするための次の機能拡張がサポートされます。

- すべての Cisco Unified SIP IP Phone に対して 1 つの手順をサポートするロケールインストーラ。

- 新しい **load** キーワード。Cisco Unified SIP IP 電話機のすべての種類に対して、**user-locale** コマンドを構成する際に、ファイルのサフィックス (.tar) を含む完全なファイル名を使用するために必要です。コマンドシンタックスは、**user-locale** [user-locale-tag] {[user-defined-code] country-code} [load TAR-filename] です。たとえば、

```
Router(config-register-global)#user-locale 2 DE load
CME-locale-de_DE-German-8.6.3.0.tar
```

ロケールインストーラを使用する場合は、手動コンフィギュレーションを実行する必要がありません。その代わりに、権限付き EXEC 構成モードで **copy** コマンドを使用して、ロケールファイルをコピーします。



- (注) Cisco Unified CME ルータにロケール ファイルを保存するときに、ロケール ファイルを /its ディレクトリ (flash:/its または slot0:/its) にコピーする必要があります。

たとえば、

```
Router# copy tftp://12.1.1.100/CME-locale-de_DE-German-8.6.3.0.tar
flash:/its
```

構成情報については、[Cisco Unified Cisco Mobility Express 9.0 以降のバージョンでのロケールインストーラの使用 \(27 ページ\)](#) を参照してください。

## SCCP 電話機のローカライゼーション サポートの構成

### Cisco Unified IP Phone 6921、6945、7906、7911、7921、7931、7941、7961、7970、7971 および Cisco IP Communicator 用のシステム定義ロケールのインストール

ネットワークロケールファイルを使用すると、IP Phone で、指定された国に適したネットワークトーンを再生できます。サポートする国用のトーンファイルをダウンロードしてインストールする必要があります。

ユーザロケールファイルを使用すると、IP Phone で指定された言語のメニューおよびプロンプトを表示できます。サポートする各言語の JAR ファイルおよびディクショナリ ファイルをダウンロードしてインストールする必要があります。

システム定義のロケールのロケールファイルをダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。



**ヒント** ロケール インストーラを使用すると、Cisco Unified CME 7.0(1) 以降のバージョンでシステム定義およびユーザ定義のロケールのインストールおよびコンフィギュレーションが簡略化されます。Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.0(1) 以降のバージョンで、ロケール インストーラを使用するには、「[Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.0\(1\) 以降のバージョンでのロケール インストーラの使用 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。

**制約事項**

- SIP 電話機では、ローカリゼーションがサポートされません。
- 日本語とロシア語のディレクトリ ファイルを除いて、電話機のファームウェア、構成ファイル、およびロケール ファイルを同じディレクトリに保存する必要があります。日本語とロシア語の場合はフラッシュ メモリに保存する必要があります。

**始める前に**

- Cisco Unified CME 4.0(2) 以降のバージョン。
- 「[SCCP 電話機用電話機別構成ファイルと代替ロケーションの定義](#)」で説明されているように電話機ごとに構成ファイルを作成する必要があります。
- ロケール ファイルをダウンロードするには、Cisco.com のアカウントがあること。

**ステップ 1** <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/CME-Locale> にアクセスします。

Software Download Center にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合や、ユーザ名やパスワードを忘れた場合は、ログイン ダイアログボックスで適切なボタンをクリックし、表示される説明に従ってください。

**ステップ 2** [ダウンロードホーム (Downloads Home)] > [製品 (Products)] > [Unified Communications] > [呼制御 (Call Control)] > [ミッドマーケット呼制御 (Mid-Market Call Control)] > [Cisco Unified Communications Manager Express] > [Unified Communications Manager Express 個別ファイル一式 (Unified Communications Manager Express Individual File Set)] の順に選択し、お使いの Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンを選択します。

**ステップ 3** インストールするロケールの TAR ファイルを選択します。各 TAR ファイルには言語および国に一意のロケールファイルが含まれており、CME-locale-language\_country-CMEversion の命名規則が使用されています。

例：

たとえば、CME-locale-de\_DE-4.0.2-2.0 は Cisco Unified CME 4.0(2) 用のドイツ語 (ドイツ) です。

**ステップ 4** TAR ファイルを、Cisco Unified CME ルータからアクセス可能な TFTP サーバにダウンロードします。各ファイルには、該当するバージョンの Cisco Unified CME でサポートされるすべての電話機タイプに必要なすべてのファームウェアが含まれています。

**ステップ 5** **archive tar** コマンドを使用して、ファイルをフラッシュメモリ、スロット 0 または外部 TFTP サーバーに展開します。

例：

```
Router# archive tar /xtract source-urlflash:/file-url
```

例：

たとえば、CME-locale-de\_DE-4.0.2-2.0.tar の内容を TFTP サーバ 192.168.1.1 からルータのフラッシュメモリに展開するには、次のコマンドを使用します。

```
Router# archive tar /xtract tftp://192.168.1.1/cme-locale-de_DE-4.0.2-2.0.tar
flash:
```

**ステップ 6** ファイル名に使用されるコードの説明およびサポートされるディレクトリ名のリストについては、[表 2: ロケール JAR ファイルの電話機タイプコード \(8 ページ\)](#) および [表 3: システム定義のユーザロケールとネットワークロケール \(9 ページ\)](#) を参照してください。

電話機タイプごとに、次の命名規則を使用した JAR ファイルがあります。

*language-phone-sccp.jar*

例：

たとえば、de-td-sccp.jar は Cisco Unified IP Phone 7970 用のドイツ語です。

また、各 TAR ファイルには、国独自のネットワーク トーンおよび断続周期のファイル g3-tones.xml が含まれます。

表 2: ロケール JAR ファイルの電話機タイプコード

電話タイプ	電話コード
6921	rtl
6945	rtl
7906/7911	tc
7931	gp
7941/7961	mk
7970/7971	td
8941/8945	gh
CIPC	ipc



表 3: システム定義のユーザ ロケールとネットワーク ロケール

言語	言語コード	ユーザ ロケールのディレクトリ名	国番号	ネットワーク ロケールのディレクトリ名
英語	en	English_United_States <sup>1</sup>	US	United_States
		English_United_Kingdom	UK	United_Kingdom
			CA	カナダ
デンマーク語	dk	Danish_Denmark	DK	デンマーク
オランダ語	nl	Dutch_Netherlands	NL	オランダ
フランス語	fr	French_France	FR	フランス
			CA	カナダ
ドイツ語	de	German_Germany	DE	ドイツ
			AT	オーストリア
			CH	スイス
イタリア語	it	Italian_Italy	IT	イタリア
Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7940、7960 では、日本語 <sup>2</sup>	jp	Japanese_Japan	JP	日本
ノルウェー語	×	Norwegian_Norway	NO	ノルウェー
ポルトガル語	pt	Portuguese_Portugal	PT	ポルトガル
ロシア語	ru	Russian_Russia	RU	Russian_Federation
スペイン語	es	Spanish_Spain	ES	スペイン
スウェーデン語	表示される	Swedish_Sweden	SE	スウェーデン

<sup>1</sup> 英語（米国）がデフォルトの言語です。別の言語を電話機に割り当て、英語の再割り当を行わない場合は、米国英語の JAR ファイルのインストールは不要です。

<sup>2</sup> のカタカナがサポートされています。漢字は Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970 および 7971 でサポートされます。

**ステップ 7** Cisco Unified CME ルータ上のフラッシュ メモリまたはスロット 0 にロケール ファイルを保存する場合、次の形式でユーザ ロケール（テキスト表示）およびネットワーク ロケール（トーン）の TFTP エイリアスを作成します。

例：

```
Router(config)# tftp-server flash:/jar_filealias directory_name/td-sccp.jar
```

```
Router(config)# tftp-server flash:/g3-tones.xml aliasdirectory_name/g3-tones.xml
```

表 3：システム定義のユーザ ロケールとネットワーク ロケール (9 ページ) に示した該当するディレクトリ名を使用し、JAR ファイル名から 2 文字の言語コードを削除します。たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 用のドイツ語 (ドイツ) の TFTP エイリアスは次のようになります。

```
Router(config)# tftp-server flash:/de-td-sccp.jar alias German_Germany/td-sccp.jar
```

```
Router(config)# tftp-server flash:/g3-tones.xml alias Germany/g3-tones.xml
```

(注) Cisco 3800 シリーズ ルータでは、ディレクトリ名に /its を含める必要があります (flash:/its or slot0:/its)。たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 用のドイツ語の TFTP エイリアスは、Router# **tftp-server flash:/its/de-td-sccp.jar alias German\_Germany/td-sccp.jar** です。

**ステップ 8** 外部 TFTP サーバにロケール ファイルを保存する場合は、TFTP ルート ディレクトリの下に各ユーザおよびネットワーク ロケール用のディレクトリを作成します。

表 3：システム定義のユーザ ロケールとネットワーク ロケール (9 ページ) に示した該当するディレクトリ名を使用し、JAR ファイル名から 2 文字の言語コードを削除します。

例：

たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 用のドイツ語のユーザ ロケール ディレクトリおよびドイツのネットワーク ロケール ディレクトリは次のようになります。

```
TFTP-Root/German_Germany/td-sccp.jar TFTP-Root/Germany/g3-tones.xml
```

**ステップ 9** ロシア語および日本語の場合は、UTF8 ディクショナリ ファイルをフラッシュ メモリにコピーして、特別な句を使用する必要があります。

- これらのロケールにはフラッシュ メモリだけを使用できます。ロシア語の場合は、`russian_tags_utf8_phrases`、日本語の場合は `Japanese_tags_utf8_phrases` をコピーします。
- **user-locale jp** および **user-locale ru** コマンドを使用して、Cisco Unified Cisco Mobility Express に UTF8 フレーズをロードします。

**ステップ 10** 電話機にロケールを割り当てます。すべての電話機にデフォルトのロケールをセットし、`telephony-service` 構成モードで、**user-locale** および **network-locale** コマンドを使用します。

**ステップ 11** 複数のユーザーまたはネットワークロケールをサポートするには、「[SCCP 電話機での複数のロケールの構成 \(19 ページ\)](#)」を参照してください。

**ステップ 12** **create cnf-files** コマンドを使用して、構成ファイルを再構築します。

**ステップ 13** **reset** コマンドを使用すると、電話機をリセットでき、ローカライズされた表示を確認できます。

## ユーザー定義のロケールのインストール

システムで事前定義されていないロケールの場合は、XML ファイルをダウンロードする必要があります。最大5つのユーザ定義ロケールファイルをインストールして電話機で使用するには、次の手順を実行します。



(注) Cisco Unified Cisco Mobility Express 10.5 リリース以降、システム定義ロケールは廃止され、ユーザー定義ロケールが推奨されます。ただし、古いロケールパッケージは引き続き使用できますが、一部のフレーズが英語で表示される場合があります。



### 制約事項

- ユーザ定義のロケールは、Cisco Unified IP Phone 7920 または 7936 ではサポートされません。
- 構成ファイルのロケーションが「system:」の場合、有効化定義ロケールはサポートされません。
- **telephony-service setup** コマンドからセットアップツールを使用して、電話機をプロビジョニングする場合、選択できるのは、デフォルトユーザロケールおよびネットワークロケールのみで、システムでサポートされているロケールコードの選択は限られます。セットアップツールで複数のロケールまたはユーザ定義のロケールを使用することはできません。
- ユーザー定義ロケールを使用する場合、電話機は通常、「Cisco/Personal Directory」および「Speed Dial/Fast Dial」などの Cisco Unified Cisco Mobility Express が介入する文字列以外のユーザー定義フォントを使用して、テキストを表示します。

### 始める前に

- Cisco Unified CME 4.0(3) 以降のバージョン。
- 「[SCCP 電話機用電話機別構成ファイルと代替ロケーションの定義](#)」で説明されているように電話機ごとに構成ファイルを作成する必要があります。
- ロケール ファイルをダウンロードするには、Cisco.com のアカウントがあること。

**ステップ 1** <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/CME-Locale> にアクセスします。

Software Download Center にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合や、ユーザ名やパスワードを忘れた場合は、ログイン ダイアログボックスで適切なボタンをクリックし、表示される説明に従ってください。

**ステップ 2** [ダウンロードホーム (Downloads Home)] > [製品 (Products)] > [Unified Communications] > [呼制御 (Call Control)] > [ミッドマーケット呼制御 (Mid-Market Call Control)] > [Cisco Unified Communications

**Manager Express]** > **[Unified Communications Manager Express 個別ファイル式 (Unified Communications Manager Express Individual File Set) ]** の順に選択し、お使いの Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンを選択します。

**ステップ 3** インストールするロケールの TAR ファイルを選択します。各 TAR ファイルには、指定言語と国用のロケールファイルが含まれ、Cisco Mobility Express-locale-language\_country-Cisco Mobility Expressversion-fileversion の命名規則が使用されています。

例：

たとえば、CME-locale-zh\_CN-4.0.3-2.0 は Cisco Unified CME 4.0(3) 用の中国語（中国繁体字）です。

**ステップ 4** TAR ファイルを、Cisco Unified CME ルータからアクセス可能な TFTP サーバにダウンロードします。各ファイルには、該当するバージョンの Cisco Unified CME でサポートされるすべての電話機タイプに必要なすべてのファームウェアが含まれています。

**ステップ 5** **archive tar** コマンドを使用して、ファイルをスロット 0、フラッシュメモリ、または外部 TFTP サーバに展開します。

例：

```
Router# archive tar /xtract source-urlflash:/file-url
```

たとえば、CME-locale-zh\_CN-4.0.3-2.0.tar の内容を TFTP サーバ 192.168.1.1 からルータのフラッシュメモリに展開するには、次のコマンドを使用します。

```
Router# archive tar /xtract tftp://192.168.1.1/cme-locale-zh_CN-4.0.3-2.0.tar
flash:
```

**ステップ 6** Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7940、または 7960 の場合は、[ステップ 11 \(14 ページ\)](#) に進みます。Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970、または 7971 の場合は、[ステップ 7 \(12 ページ\)](#) に進みます。

**ステップ 7** 各電話機タイプには *language-type-sccp.jar* の命名規則を使用した JAR ファイルがあります。

例：

たとえば、zh-td-sccp.jar は Cisco Unified IP Phone 7970 用の中国語（繁体字）です。

ファイル名に使用されるコードの説明については、[表 4: ロケールファイルの電話機タイプコード \(12 ページ\)](#) および [表 5: ユーザ定義ロケールの言語コード \(13 ページ\)](#) を参照してください。

表 4: ロケールファイルの電話機タイプコード

電話タイプ	コード
6921	rtl
6945	rtl
7906/7911	tc
7931	gp
7941/7961	mk
7970/7971	td

電話タイプ	コード
8941/8945	gh
CIPC	ipc

表 5: ユーザー定義ロケールの言語コード

言語	言語コード
ブルガリア語	bg
中国語	zh <sup>3</sup>
クロアチア語	hr
チェコ共和国	cs
フィンランド語	fi
ギリシャ語	el
ハンガリー語	hu
韓国語	ko
ポーランド語	pl
ポルトガル語 (ブラジル)	pt
ルーマニア語	ro
セルビア語	sr
スロバキア語	sk
スロベニア語	sl
トルコ語	tr

<sup>3</sup> Cisco Unified IP Phone 7931 の場合、中国語 (簡体字) コードは、chs で中国語 (繁体字) コードは cht です。

**ステップ 8** Cisco Unified CME ルータ上のフラッシュメモリまたはスロット 0 にロケールファイルを保存する場合は、次の形式で TFTP エイリアスを作成します。

例:

```
Router(config)# tftp-server flash:/jar_filealias directory_name/td-sccp.jar
```

JAR ファイル名から 2 文字の言語コードを削除し、次の表記法で、サポートされる 5 文字のディレクトリ名のいずれかを使用します。

`user_define_number`。ここでは `number` は 1～5 です

たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 の中国語のエイリアスは次のようになります。

```
Router(config)# tftp-server flash:/zh-td-sccp.jar alias user_define_1/td-sccp.jar
```

(注) Cisco 3800 シリーズ ルータでは、ディレクトリ名に `/its` を含める必要があります (`flash:/its` or `slot0:/its`)。たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 用の中国語の TFTP エイリアスは次のようになります。

```
Router(config)# tftp-server flash:/its/zh-td-sccp.jar alias user_define_1/td-sccp.jar
```

**ステップ 9** 外部 TFTP サーバにロケール ファイルを保存する場合は、TFTP ルート ディレクトリの下にディレクトリを作成します。

JAR ファイル名から 2 文字の言語コードを削除し、次の表記法で、サポートされる 5 文字のディレクトリ名のいずれかを使用します。

`user_define_number`。ここでは `number` は 1～5 です

例：

たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 の中国語の場合、JAR ファイル名から「zh」を削除し、TFTP サーバの TFTP-Root の下に「user\_define\_1」ディレクトリを作成します。

TFTP-Root/user\_define\_1/td-sccp.jar

**ステップ 10** 「[ステップ 13 \(15 ページ\)](#)」に進みます。

**ステップ 11** 選択したロケールおよび電話機のタイプに応じて、次の 1 つまたは複数の XML ファイルをダウンロードします。必要なすべてのファイルが JAR ファイルに含まれています。

例：

```
7905-dictionary.xml
7905-font.xml
7905-kate.xml
7920-dictionary.xml
7960-dictionary.xml
7960-font.xml
7960-kate.xml
7960-tones.xml
SCCP-dictionary.utf-8.xml
SCCP-dictionary.xml
```

**ステップ 12** これらのファイルの名前を変更し、フラッシュ メモリ、スロット 0、または外部 TFTP サーバにコピーします。`user_define_number_filename` という形式を使用してファイル名を変更します。ここでは、`number` は 1～5 です。

例：

たとえば、最初のユーザ ロケールをセットアップする場合、次の名前を使用します。

```
user_define_1_7905-dictionary.xml
user_define_1_7905-font.xml
user_define_1_7905-kate.xml
user_define_1_7920-dictionary.xml
user_define_1_7960-dictionary.xml
user_define_1_7960-font.xml
user_define_1_7960-kate.xml
user_define_1_7960-tones.xml
```

```
user_define_1_SCCP-dictionary.utf-8.xml
user_define_1_SCCP-dictionary.xml
```

- ステップ 13** *language\_tags\_file* と *language\_utf8\_tags\_file* を別のロケールファイルがある場所（フラッシュメモリ、スロット 0 または TFTP サーバー）にコピーします。ファイル名を *user\_define\_number\_tags\_file* と *user\_define\_number\_utf8\_tags\_file* にそれぞれ変更します。ここでは、*number* は 1～5 で、ユーザー定義ディレクトリと一致します。
- ステップ 14** 電話機にロケールを割り当てます。「[SCCP 電話機での複数のロケールの構成（19 ページ）](#)」を参照してください。
- ステップ 15** **create cnf-files** コマンドを使用して、構成ファイルを再構築します。
- ステップ 16** **reset** コマンドを使用すると、電話機をリセットでき、ローカライズされた表示を確認できます。

---

## Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.0(1) 以降のバージョンでのロケールインストーラの使用

SCCP 電話機を Cisco Unified CME で使用するためにロケール ファイルをインストールして設定するには、次の手順を実行します。



- ヒント** Cisco Unified CME 7.0(1) には、Cisco Unified CME 4.3/7.0 以前のバージョンとの下位互換性があります。以前の Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンと同じ優先設定を使用するには、「[Cisco Unified IP Phone 6921、6945、7906、7911、7921、7931、7941、7961、7970、7971 および Cisco IP Communicator 用のシステム定義ロケールのインストール（6 ページ）](#)」を参照してください。
-



### 制約事項

- 外部 TFTP サーバを使用する場合は、手動でルート ディレクトリにユーザ ロケール フォルダを作成する必要があります。これは TFTP サーバの制限事項です。
- ロケールのサポートは、Cisco Unified CME でサポートされる電話機のファームウェア バージョンに制限されます。
- ユーザ定義のロケールは、Cisco Unified IP Phone 7920 または 7936 ではサポートされません。
- 構成ファイルのロケーションが「system:」の場合、有効化定義ロケールはサポートされません。
- **telephony-service setup** コマンドからセットアップツールを使用して、電話機をプロビジョニングする場合、選択できるのは、デフォルトユーザロケールおよびネットワークロケールのみで、システムでサポートされているロケールコードの選択は限られます。セットアップ ツールで複数のロケールまたはユーザ定義のロケールを使用することはできません。
- ユーザー定義ロケールを使用する場合、電話機は通常、「Cisco/Personal Directory」および「Speed Dial/Fast Dial」などの Cisco Unified Cisco Mobility Express が介入する文字列以外のユーザー定義フォントを使用して、テキストを表示します。
- 国コード U1 ~ U5 を使用してユーザ定義のロケールをインストールおよび設定してから、同じラベルを使用する新しいロケールをインストールした場合は、電話機をリセットしても最初の言語ロケールのままになります。これは IP Phone の制限事項です。この制限を回避するには、別の国コードを使用して新しいパッケージを設定する必要があります。
- ユーザ定義の各国コード (U1 ~ U5) は、一度に 1 つの user-locale-tag だけに使用できます。例：

```
Router(config-telephony)# user-locale 2 U2 load Finnish.pkg
Router(config-telephony)# user-locale 1 U2 load Chinese.pkg
LOCALE ERROR: User Defined Locale U2 already exists on locale index 2.
```

### 始める前に

- Cisco Unified CME 7.0(1) 以降のバージョン。
- 各電話機の構成ファイル用に Cisco Unified CME を設定する必要があります。「[SCCP 電話機用電話機別構成ファイルと代替ロケーションの定義](#)」を参照してください。
- **cnf-file location** コマンドによって指定された格納場所がフラッシュメモリの場合、ローカル TAR ファイルの内容を展開するために十分な領域がフラッシュファイルシステムに存在する必要があります。
- ロケール ファイルをダウンロードするには、Cisco.com のアカウントがあること。



**ステップ 1** <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/CME-Locale> にアクセスします。

Software Download Center にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合や、ユーザ名やパスワードを忘れた場合は、ログインダイアログボックスで適切なボタンをクリックし、表示される説明に従ってください。

**ステップ 2** [ダウンロードホーム (Downloads Home)] > [製品 (Products)] > [Unified Communications] > [呼制御 (Call Control)] > [ミッドマーケット呼制御 (Mid-Market Call Control)] > [Cisco Unified Communications Manager Express] > [Unified Communications Manager Express 個別ファイル式 (Unified Communications Manager Express Individual File Set)] の順に選択し、お使いの Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンを選択します。

**ステップ 3** インストールするロケールの TAR ファイルを選択します。各 TAR ファイルには言語および国に一意のロケールファイルが含まれており、CME-locale-language\_country-CMEversion の命名規則が使用されています。

例：

たとえば、CME-locale-de\_DE-7.0.1.0 は Cisco Unified CME 7.0(1) 用のドイツ語（ドイツ）です。

**ステップ 4** `cnf-file location` コマンドが以前に指定したロケーションに TAR ファイルをダウンロードします。各ファイルには、該当するバージョンの Cisco Unified CME でサポートされるすべての電話機タイプに必要なすべてのファームウェアが含まれています。

- `cnf-file` の場所がフラッシュ メモリの場合：TAR ファイルを `flash:/its` ディレクトリにコピーします。
- `cnf-file` の場所が `slot0` の場合：TAR ファイルを `slot0:/its` ディレクトリにコピーします。
- `cnf-file` の場所が `tftp` の場合：次の形式を使用して TFTP サーバーのルートディレクトリにフォルダを作成し、TFTP-Root フォルダに TAR ファイルをコピーします。 **TFTP-Root/TAR-filename**

例：

システム定義のロケールの場合は、[表 6: システム定義およびユーザ定義のロケール \(18 ページ\)](#) に示すロケール フォルダ名を使用します。たとえば、次のように、システム定義のドイツ語用のフォルダを作成します。

**TFTP-Root/de\_DE-7.0.1.0.tar**

最大 5 つのユーザー定義のロケールの場合、[表 6: システム定義およびユーザ定義のロケール \(18 ページ\)](#) で示すように `User_Define_n` フォルダ名を使用します。ユーザー定義のロケールとは、Cisco IOS ソフトウェアで事前に定義されているシステム定義のロケール以外の言語です。たとえば、次のように、ユーザー定義のロケールの中国語 (`User_Define_1`) 用フォルダを作成します。

**TFTP-Root/CME-locale-zh\_CN-7.0.1.0.tar**

- (注) Cisco Unified Cisco Mobility Express でサポートされているユーザー定義言語のリストについては、「[Cisco Unified Cisco Mobility Express ローカライゼーションマトリックス](#)」を参照してください。

表 6: システム定義およびユーザ定義のロケール

言語	ロケール フォルダ名	国番号
英語	English_United_States	US
	English_United_Kingdom	UK
		CA
デンマーク語	Danish_Denmark	DK
オランダ語	Dutch_Netherlands	NL
フランス語	French_France	FR
		CA
ドイツ語	German_Germany	DE
		AT
		CH
イタリア語	Italian_Italy	IT
Cisco Unified IP Phone 7905、 7912、7940、7960 では、日本語 <sup>4</sup>	Japanese_Japan	JP
ノルウェー語	Norwegian_Norway	NO
ポルトガル語	Portuguese_Portugal	PT
ロシア語	Russian_Russia	RU
スペイン語	Spanish_Spain	ES
スウェーデン語	Swedish_Sweden	SE
Un <sup>5</sup>	User_Define_n <sup>2</sup>	Un <sup>2</sup>

<sup>4</sup> のカタカナがサポートされています。漢字は Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970 および 7971 でサポートされます。

<sup>5</sup> ここで、n は 1～5 の数字です。

**ステップ 5 user-locale** [*user-locale-tag*] *country-code* **load** *TAR-filename* を telephony-service 構成モードで使用して、TAR ファイルのコンテンツを抽出します。国コードについては、[表 6: システム定義およびユーザ定義のロケール \(18 ページ\)](#) を参照してください。

例：

たとえば、U1 がユーザ定義のロケール Chinese (User\_Define\_1) の国コードの場合、CME-locale-zh\_CN-7.0.1.0.tar ファイルの内容を展開するには、次のコマンドを使用します。

```
Router (telephony-service)# user-locale U1 load CME-locale-zh_CN-7.0.1.0.tar
```

**ステップ 6** 電話機にロケールを割り当てます。「[SCCP 電話機での複数のロケールの構成 \(19 ページ\)](#)」を参照してください。

**ステップ 7 create cnf-files** コマンドを使用して、構成ファイルを再構築します。

**ステップ 8 reset** コマンドを使用すると、電話機をリセットでき、ローカライズされた表示を確認できます。

## ユーザー定義ロケールの確認

「[SCCP 電話機での複数のロケールの確認 \(23 ページ\)](#)」を参照してください。

## SCCP 電話機での複数のロケールの構成

デフォルトのユーザおよびネットワーク ロケールに対して1つまたは複数の代替ロケールを定義し、個々の電話機に割り当てるには、次の手順を実行します。



### 制約事項

- Cisco Unified IP Phone 7902G、7910、7910G、または 7920、あるいは Cisco Unified IP Conference Stations 7935 および 7936 では、複数のユーザ ロケールおよびネットワーク ロケールがサポートされません。
- **telephony-service setup** コマンドから電話機をプロビジョニングするためのセットアップツールを使用する場合、選択できるのはデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールだけで、システムで事前に定義されるロケールコードを選択する必要があります。セットアップ ツールで複数のロケールまたはユーザ定義のロケールを使用することはできません。

### 始める前に

- Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。
- Cisco Unified CME システム内の個々の電話機に代替ユーザ ロケールおよびネットワークロケールを指定するには、電話機ごとの構成ファイルを使用する必要があります。詳細については、[SCCP 電話機用電話機別構成ファイルと代替ロケーションの定義](#)を参照してください。
- また、適切な XML ファイルをダウンロードした後、ユーザ定義のロケールコードを代替ロケールとして使用することもできます。「[ユーザー定義のロケールのインストール \(11 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**

3. **telephony-service**
4. **user-locale** [*user-locale-tag*] { [*user-defined-code*] *country-code* }
5. **network-locale** *network-locale-tag* [*user-defined-code*] *country-code*
6. **create cnf-files**
7. **exit**
8. **ephone-template** *template-tag*
9. **user-locale** *user-locale-tag*
10. **network-locale** *network-locale-tag*
11. **exit**
12. **ephone** *phone-tag*
13. **ephone-template** *template-tag*
14. **exit**
15. **telephony-service**
16. **reset** { **all** [*time-interval*] | **cancel** | **mac-address** *mac-address* | **sequence-all** }
17. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>telephony-service</b> 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	<b>user-locale</b> [ <i>user-locale-tag</i> ] { [ <i>user-defined-code</i> ] <i>country-code</i> } 例： Router(config-telephony)# user-locale 1 U1 ZH	電話機の表示用言語を指定します。  • <i>user-locale-tag</i> — ロケールにロケール識別子を割り当てます。範囲は 0 ~ 4 です。デフォルト：[0]。この引数は、デフォルト (0) 以外の一部のロケールを定義する場合に必要です。  • <i>user-defined-code</i> — (オプション) ユーザー定義のコードの 1 つを特定の国コードに割り当てます。有効なコードは、 <b>U1</b> 、 <b>U2</b> 、 <b>U3</b> 、 <b>U4</b> および <b>U5</b> です。  • <i>country-code</i> — ? と入力すると、システム定義コードのリストが表示されます。デフォルト：US (米国)。有効な任意の ISO 639 コードを

	コマンドまたはアクション	目的
		ユーザ定義コード (U1 ~ U5) に割り当てることができます。
ステップ 5	<b>network-locale</b> <i>network-locale-tag</i> [ <i>user-defined-code</i> ] <i>country-code</i> 例 : <pre>Router(config-telephony)# network-locale 1 FR</pre>	トーンおよび断続周期の国を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>network-locale-tag</i>— ロケール識別子を国コードに割り当てます。範囲は0 ~ 4です。デフォルト : [0]。この引数は、デフォルト (0) 以外の一部のロケールを定義する場合に必要です。</li> <li>• <i>user-defined-code</i>— (オプション) ユーザー定義のコードの1つを特定の国コードに割り当てます。有効なコードは、<b>U1</b>、<b>U2</b>、<b>U3</b>、<b>U4</b> および <b>U5</b> です。</li> <li>• <i>country-code</i>— ? と入力すると、システム定義コードのリストが表示されます。デフォルト : US (米国)。有効な任意の ISO 3166 コードをユーザ定義コード (U1 ~ U5) に割り当てることができます。</li> </ul>
ステップ 6	<b>create cnf-files</b> 例 : <pre>Router(config-telephony)# create cnf-files</pre>	IP Phone で必要とされる XML 構成ファイルを構築します。ユーザロケールまたはネットワークロケールなどの構成ファイルパラメータを更新した後、このコマンドを使用します。
ステップ 7	<b>exit</b> 例 : <pre>Router(config-telephony)# exit</pre>	telephony-service コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 8	<b>ephone-template</b> <i>template-tag</i> 例 : <pre>Router(config)# ephone template 1</pre>	ephone テンプレート コンフィギュレーションモードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i>— 構成タスク中にこのテンプレートを識別する一意のシーケンス番号。</li> </ul>
ステップ 9	<b>user-locale</b> <i>user-locale-tag</i> 例 : <pre>Router(config-ephone-template)# user-locale 2</pre>	ユーザロケールをこの ephone テンプレートに割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>user-locale-tag</i>— <a href="#">ステップ 4 (20 ページ)</a> で作成されたロケールタグ。範囲は0 ~ 4です。</li> </ul>
ステップ 10	<b>network-locale</b> <i>network-locale-tag</i> 例 :	ネットワークロケールをこの ephone テンプレートに割り当てます。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-ephone-template)# network-locale 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>network-locale-tag</i>— <a href="#">ステップ 5 (21 ページ)</a> で作成されたロケールタグ。範囲は 0 ~ 4 です。</li> </ul>
ステップ 11	<b>exit</b> 例： Router(config-ephone-template)# exit	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 12	<b>ephone phone-tag</b> 例： Router(config)# ephone 36	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>phone-tag</i>— 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号。</li> </ul>
ステップ 13	<b>ephone-template template-tag</b> 例： Router(config-ephone)# ephone-template 1	ephone テンプレートを ephone に適用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i>— この ephone に適用するテンプレートの数。</li> </ul>
ステップ 14	<b>exit</b> 例： Router(config-ephone)# exit	ephone コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 15	<b>telephony-service</b> 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 16	<b>reset {all [time-interval]   cancel   mac-address mac-address   sequence-all}</b> 例： Router(config-telephony)# reset all	DHCP サーバおよび TFTP サーバへの接続を含めて、コンフィギュレーション情報を最新にするため、すべての電話機または指定された電話機の完全なリブートを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>all</b>— Cisco Unified Cisco Mobility Express システムのすべての電話機。</li> <li>• <i>time-interval</i>— (オプション) 各電話機のリセット間の秒単位の間隔。範囲は 0 ~ 60 です。デフォルトは 15 です。</li> <li>• <i>cancel</i>— <b>reset sequence-all</b> コマンドで開始された連続するリセットサイクルを中断します。</li> <li>• <b>mac-address mac-address</b>— 特定の電話機。</li> <li>• <b>sequence-all</b>— 1 台の電話機の登録後に次の電話機のリセットを開始することで、必ず一度に 1 台ずつ、すべての電話機をリセットします。</li> </ul>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 17	<b>end</b> 例： Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SCCP 電話機での複数のロケールの確認

**ステップ 1** **show telephony-service tftp-bindings** コマンドを使用して、ディレクトリ、言語、およびトーン構成ファイルなどの TFTP を使用する IP Phone にアクセス可能な構成ファイルの一覧を表示します。

例：

```
Router(config)# show telephony-service tftp-bindings

tftp-server system:/its/SEPDEFAULT.cnf
tftp-server system:/its/SEPDEFAULT.cnf alias SEPDefault.cnf
tftp-server system:/its/XMLDefault.cnf.xml alias XMLDefault.cnf.xml
tftp-server system:/its/ATADefault.cnf.xml
tftp-server system:/its/XMLDefault7960.cnf.xml alias SEP00036B54BB15.cnf.xml
tftp-server system:/its/germany/7960-font.xml alias German_Germany/7960-font.xml
tftp-server system:/its/germany/7960-dictionary.xml alias German_Germany/7960-dictionary.xml
tftp-server system:/its/germany/7960-kate.xml alias German_Germany/7960-kate.xml
tftp-server system:/its/germany/SCCP-dictionary.xml alias German_Germany/SCCP-dictionary.xml
tftp-server system:/its/germany/7960-tones.xml alias Germany/7960-tones.xml
```

**ステップ 2** 各構成ファイルが、**cnf-file perphone** コマンドで定義されていることを確認します。

**ステップ 3** **show telephony-service ephone-template** コマンドを使用して、各 Ephone テンプレートのユーザーロケール設定とネットワークロケール設定を確認します。

**ステップ 4** **show telephony-service ephone** コマンドを使用して、電話機に適用する正確なテンプレートを確認します。

**ステップ 5** 構成ファイルのロケーションが TFTP ではない場合、**debug tftp events** コマンドを使用して、Cisco Unified Cisco Mobility Express が探すファイルおよびファイルが検索されたか、ファイルが開かれたかを確認します。通常、「looking for x file」、「opened x file」および「finished x file」の 3 つの状態があります。3 つのすべての状態が表示されている場合は、ファイルが見つかっています。外部 TFTP サーバの場合は、TFTP サーバのログを使用できます。

## SIP 電話機でのローカリゼーションサポートの構成

### Cisco Unified IP Phone 8961、9951、9971 用システム定義ロケールのインストール

ネットワークロケールファイルを使用すると、IP Phone で、指定された国に適したネットワークトーンを再生できます。サポートする国用のトーンファイルをダウンロードしてインストールする必要があります。

ユーザ ロケール ファイルを使用すると、IP Phone で指定された言語のメニューおよびプロンプトを表示できます。サポートする各言語の JAR ファイルおよびディクショナリ ファイルをダウンロードしてインストールする必要があります。

システム定義のロケールのロケールファイルをダウンロードしてインストールするには、次の手順を実行します。



**制約事項** 電話機のファームウェア、構成ファイル、およびロケール ファイルが同じディレクトリ内に保存されている必要があります。

### 始める前に

- Cisco Unified CME 8.6 以降のバージョン。Cisco Unified IP Phone 9971 場合は、Cisco Unified Cisco Mobility Express 8.8 以降のバージョン。
- ロケール ファイルをダウンロードするには、Cisco.com のアカウントがあること。

**ステップ 1** <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/CME-Locale> にアクセスします。

Software Download Center にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合や、ユーザ名やパスワードを忘れた場合は、ログイン ダイアログボックスで適切なボタンをクリックし、表示される説明に従ってください。

**ステップ 2** [ダウンロードホーム (Downloads Home)] > [製品 (Products)] > [Unified Communications] > [呼制御 (Call Control)] > [ミッドマーケット呼制御 (Mid-Market Call Control)] > [Cisco Unified Communications Manager Express] > [Unified Communications Manager Express 個別ファイル一式 (Unified Communications Manager Express Individual File Set)] の順に選択し、お使いの Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンを選択します。

**ステップ 3** インストールするロケールの TAR ファイルを選択します。各 TAR ファイルには言語および国に一意のロケールファイルが含まれており、CME-locale-language\_country-CMEversion の命名規則が使用されています。

例：

たとえば、CME-locale-de\_DE-8.6 は Cisco Unified CME 8.6 用のドイツ語 (ドイツ) です。

**ステップ 4** TAR ファイルを、Cisco Unified CME ルータからアクセス可能な TFTP サーバにダウンロードします。各ファイルには、該当するバージョンの Cisco Unified CME でサポートされるすべての電話機タイプに必要なすべてのファームウェアが含まれています。

**ステップ 5** `archive tar` コマンドを使用して、ファイルをフラッシュメモリ、スロット 0 または外部 TFTP サーバに展開します。

例：

```
Router# archive tar /xtract source-urlflash:/file-url
```

たとえば、CME-locale-de\_DE-8.6.tar の内容を TFTP サーバ 192.168.1.1 からルータのフラッシュメモリに展開するには、次のコマンドを使用します。



```
Router# archive tar /xtract tftp://192.168.1.1/cme-locale-de_DE-8.6.tar flash:
```

**ステップ 6** ファイル名に使用されるコードの説明およびサポートされるディレクトリ名のリストについては、[表 7: ロケール JAR ファイルの電話機タイプコード \(25 ページ\)](#) および [表 8: システム定義のユーザ ロケールとネットワーク ロケール \(25 ページ\)](#) を参照してください。

電話機タイプごとに、次の命名規則を使用した JAR ファイルがあります。

*language-phone-sip.jar*

例 :

たとえば、de-gh-sip.jar は Cisco Unified IP Phone 8961 用のドイツ語です。

また、各 TAR ファイルには、国独自のネットワーク トーンおよび断続周期のファイル g4-tones.xml が含まれます。

表 7: ロケール JAR ファイルの電話機タイプコード

電話タイプ	電話コード
3905	cin
6941	rtl
6945	rtl
8961	gh
9951	gd
9971	gd

表 8: システム定義のユーザ ロケールとネットワーク ロケール

言語	言語コード	ユーザ ロケールのディレクトリ名	国番号	ネットワーク ロケールのディレクトリ名
英語	en	English_United_States <sup>6</sup>	US	United_States
		English_United_Kingdom	UK	United_Kingdom
			GB	United_Kingdom
			CA	Canada
			AU	Australia
デンマーク語	dk	Danish_Denmark	DK	Denmark
オランダ語	nl	Dutch_Netherlands	NL	Netherlands
フランス語	fr	French_France	FR	France
			CA	Canada

言語	言語コード	ユーザ ロケールの ディレクトリ名	国番号	ネットワーク ロケールの ディレクトリ名
ドイツ語	de	German_Germany	DE	Germany
			AT	Austria
			CH	Switzerland
イタリア語	it	Italian_Italy	IT	Italy
日本語	jp	Japanese_Japan	JP	Japan
ノルウェー語	×	Norwegian_Norway	NO	Norway
ポルトガル語	pt	Portuguese_Portugal	PT	Portugal
ロシア語	ru	Russian_Russia	RU	Russian_Federation
スペイン語	es	Spanish_Spain	ES	Spain
スウェーデン語	se	Swedish_Sweden	SE	Sweden

<sup>6</sup> 英語（米国）がデフォルトの言語です。別の言語を電話機に割り当て、英語の再割り当を行わない場合は、米国英語の JAR ファイルのインストールは不要です。

**ステップ 7** Cisco Unified CME ルータ上のフラッシュ メモリまたはスロット 0 にロケール ファイルを保存する場合、次の形式でユーザ ロケール（テキスト表示）およびネットワーク ロケール（トーン）の TFTP エイリアスを作成します。

例：

```
Router(config)# tftp-server flash:/jar_filealias directory_name/gh-sip.jar
Router(config)# tftp-server flash:/g4-tones.xml aliasdirectory_name/g4-tones.xml
```

表 7: ロケール JAR ファイルの電話機タイプ コード (25 ページ) に示した該当するディレクトリ名を使用し、JAR ファイル名から 2 文字の言語コードを削除します。

たとえば、Cisco Unified IP Phone 8961 用のドイツ語（ドイツ）の TFTP エイリアスは次のようになります。

```
Router(config)# tftp-server flash:/de-gh-sip.jar alias German_Germany/
Router(config)# tftp-server flash:/g4-tones.xml alias Germany/g4-tones.xml
```

**ステップ 8** 外部 TFTP サーバにロケール ファイルを保存する場合は、TFTP ルート ディレクトリの下に各ユーザおよびネットワーク ロケール用のディレクトリを作成します。

表 7: ロケール JAR ファイルの電話機タイプ コード (25 ページ) に示した該当するディレクトリ名を使用し、JAR ファイル名から 2 文字の言語コードを削除します。

例：

たとえば、Cisco Unified IP Phone 8961 のドイツ語のユーザ ロケール ディレクトリおよびドイツのネットワーク ロケール ディレクトリは次のようになります。

TFTP-Root/German\_Germany/gh-sip.jar TFTP-Root/Germany/g4-tones.xml

- ステップ 9** 電話機にロケールを割り当てます。すべての電話機にデフォルトのロケールを設定するには、音声登録グローバル構成モードで、**user-locale** および **network-locale** コマンドを使用します。
- ステップ 10** 複数のユーザーまたはネットワークロケールをサポートするには、「[SIP 電話機での複数のロケールの確認 \(33 ページ\)](#)」を参照してください。
- ステップ 11** **create profile** コマンドを使用して、構成ファイルを再構築します。
- ステップ 12** **reset** コマンドを使用すると、電話機をリセットでき、ローカライズされた表示を確認できます。

## Cisco Unified Cisco Mobility Express 9.0 以降のバージョンでのロケールインストーラの使用



### 制約事項

- 外部 TFTP サーバを使用する場合は、手動でルート ディレクトリにユーザ ロケール フォルダを作成する必要があります。これは TFTP サーバの制限事項です。
- ロケールのサポートは、Cisco Unified CME でサポートされる電話機のファームウェア バージョンに制限されます。
- 構成ファイルのロケーションが「system:」の場合、有効化定義ロケールはサポートされません。
- 国コード U1 ~ U5 を使用してユーザ定義のロケールをインストールおよび設定してから、同じラベルを使用する新しいロケールをインストールした場合は、電話機をリセットしても最初の言語ロケールのままになります。これは IP Phone の制限事項です。この制限を回避するには、別の国コードを使用して新しいパッケージを設定する必要があります。
- ユーザ定義の各国コード (U1 ~ U5) は、一度に 1 つの user-locale-tag だけに使用できます。例：

```
Router(config-register-global)# user-locale 2 U2 load Finnish.pkg
Router(config-register-global)# user-locale 1 U2 load Chinese.pkg
LOCALE ERROR: User Defined Locale U2 already exists on locale index 2.
```

### 始める前に

- Cisco Unified CME 9.0(1) 以降のバージョン。

- **cnf-file location** コマンドによって指定された格納場所がフラッシュメモリの場合、ローカル TAR ファイルの内容を展開するために十分な領域がフラッシュファイルシステムに存在している必要があります。
- ロケール ファイルをダウンロードするには、Cisco.com のアカウントがあること。

**ステップ 1** <http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/CME-Locale> にアクセスします。

Software Download Center にアクセスするには、Cisco.com のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合や、ユーザ名やパスワードを忘れた場合は、ログインダイアログボックスで適切なボタンをクリックし、表示される説明に従ってください。

**ステップ 2** [ダウンロードホーム (Downloads Home)] > [製品 (Products)] > [Unified Communications] > [呼制御 (Call Control)] > [ミッドマーケット呼制御 (Mid-Market Call Control)] > [Cisco Unified Communications Manager Express] > [Unified Communications Manager Express 個別ファイル一式 (Unified Communications Manager Express Individual File Set)] の順に選択し、お使いの Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンを選択します。

**ステップ 3** インストールするロケールの TAR ファイルを選択します。各 TAR ファイルには言語および国に一意のロケールファイルが含まれており、Cisco Mobility Express-locale-language\_country-Cisco Mobility Expressversion.tar の命名規則が使用されています。

例：

たとえば、CME-locale-de\_DE-German-8.6.3.0.tar は Cisco Unified CME 9.0 用のドイツ語（ドイツ）です。

**ステップ 4** **cnf-file location** コマンドが以前に指定したロケーションに TAR ファイルをダウンロードします。各ファイルには、該当するバージョンの Cisco Unified CME でサポートされるすべての電話機タイプに必要なすべてのファームウェアが含まれています。

ロケールインストーラを使用する場合は、手動コンフィギュレーションを実行する必要がありません。その代わりに、権限付き EXEC 構成モードで **copy** コマンドを使用して、ロケールファイルをコピーします。

(注) Cisco Unified CME ルータにロケールファイルを保存するときに、ロケールファイルを /its ディレクトリ (flash:/its または slot0:/its) にコピーする必要があります。

a) **cnf-file** の場所がフラッシュ メモリの場合：TAR ファイルを flash:/its ディレクトリにコピーします。

例：

たとえば、

```
Router# copy tftp://12.1.1.100/CME-locale-de_DE-German-8.6.3.0.tar flash:/its
```

b) **cnf-file** の場所が slot0 の場合：TAR ファイルを slot0:/its ディレクトリにコピーします。

c) **cnf-file** の場所が tftp の場合：次の形式を使用して TFTP サーバーのルートディレクトリにフォルダを作成し、TFTP-Root フォルダに TAR ファイルをコピーします。

例：

```
TFTP-Root/TAR-filename
```

システム定義のロケールの場合は、[表 9: システム定義およびユーザ定義のロケール \(29 ページ\)](#) に示すロケールフォルダ名を使用します。たとえば、次のように、システム定義のドイツ語用のフォルダを作成します。

**TFTP-Root/de\_DE-8.6.3.0.tar**

最大 5 つのユーザー定義のロケールの場合、[表 9: システム定義およびユーザ定義のロケール \(29 ページ\)](#) で示すように User\_Define\_n フォルダ名を使用します。ユーザ定義のロケールとは、Cisco IOS ソフトウェアで事前に定義されているシステム定義のロケール以外の言語です。たとえば、次のように、ユーザ定義のロケールの中国語 (User\_Define\_1) 用フォルダを作成します。

**TFTP-Root/CME-locale-zh\_CN-Chinese-8.6.3.0.tar**

(注) Cisco Unified Cisco Mobility Express でサポートされているユーザー定義言語のリストについては、「Cisco Unified Cisco Mobility Express ローカライゼーションマトリックス」を参照してください。

表 9: システム定義およびユーザ定義のロケール

言語	ロケール フォルダ名	国番号
英語	English_United_States	US
	English_United_Kingdom	UK
		CA
デンマーク語	Danish_Denmark	DK
オランダ語	Dutch_Netherlands	NL
フランス語	French_France	FR
		CA
ドイツ語	German_Germany	DE
		AT
		CH
イタリア語	Italian_Italy	IT
日本語	Japanese_Japan	JP
ノルウェー語	Norwegian_Norway	NO
ポルトガル語	Portuguese_Portugal	PT
ロシア語	Russian_Russia	RU
スペイン語	Spanish_Spain	ES

言語	ロケール フォルダ名	国番号
スウェーデン語	Swedish_Sweden	SE
Un <sup>7</sup>	User_Define_n <sup>1</sup>	Un <sup>1</sup>

<sup>7</sup>ここで、n は 1 ～ 5 の数字です。

**ステップ 5** `user-locale [user-locale-tag] {[user-defined-code]country-code} [load TAR-filename]` コマンドを音声登録グローバル構成モードで使用して、TAR ファイルの内容を展開します。国コードについては、[表 9: システム定義およびユーザ定義のロケール \(29 ページ\)](#) を参照してください。

(注) すべての Cisco Unified SIP IP Phone タイプに `user-locale` コマンドを構成する場合、ファイルのサフィックス (.tar) を含め完全なファイル名を使用します。

例：

たとえば、U1 がユーザ定義のロケール Chinese (User\_Define\_1) の国コードの場合、`CME-locale-zh_CN-Chinese-8.6.3.0.tar` ファイルの内容を展開するには、次のコマンドを使用します。

```
Router(config-register-global)# user-locale U1 load CME-locale-zh_CN-Chinese-8.6.3.0.tar
```

**ステップ 6** 電話機にロケールを割り当てます。「[SIP 電話機での複数のロケールの構成 \(30 ページ\)](#)」を参照してください。

**ステップ 7** 音声登録グローバル構成モードで `create profile` コマンドを使用して、Cisco Unified SIP IP 電話機に必要な構成プロファイルファイルを生成します。

**ステップ 8** `reset` コマンドを使用すると、電話機をリセットでき、ローカライズされた表示を確認できます。

## SIP 電話機での複数のロケールの構成

デフォルトのユーザおよびネットワーク ロケールに対して1つまたは複数の代替ロケールを定義し、個々の電話機に割り当てるには、次の手順を実行します。



### 制約事項

- 複数のユーザ ロケールおよびネットワーク ロケールは、Cisco Unified IP Phone 8961、9951、および 9971 だけでサポートされます。

### 始める前に

- Cisco Unified CME 8.6 以降のバージョン。Cisco Unified IP Phone 9971 場合は、Cisco Unified Cisco Mobility Express 8.8 以降のバージョン。
- Cisco Unified CME システム内の個々の電話機に代替ユーザ ロケールおよびネットワーク ロケールを指定するには、電話機ごとの構成ファイルを使用する必要があります。詳細に

については、Cisco Unified IP Phone 6921、6945、7906、7911、7921、7931、7941、7961、7970、7971 および Cisco IP Communicator 用のシステム定義ロケールのインストール（6 ページ）を参照してください。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register global**
4. **user-locale** *[user-locale-tag]* { *[user-defined-code]* *country-code* }
5. **network-locale** *network-locale-tag* *[user-defined-code]* *country-code*
6. **create profile**
7. **exit**
8. **voice register template** *template-tag*
9. **user-locale** *user-locale-tag*
10. **network-locale** *network-locale-tag*
11. **exit**
12. **voice register pool** *pool-tag*
13. **voice register template** *template-tag*
14. **exit**
15. **voice register global**
16. **reset**
17. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>voice register global</b> 例： Router(config)#voice register global	音声登録グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。
ステップ 4	<b>user-locale</b> <i>[user-locale-tag]</i> { <i>[user-defined-code]</i> <i>country-code</i> } 例： Router(config-register-global)# user-locale 1 DE	電話機の表示用言語を指定します。  • <i>user-locale-tag</i> — ロケールにロケール識別子を割り当てます。範囲は 0～4 です。デフォルト：[0]。この引数は、デフォルト（0）以外の一部のロケールを定義する場合に必要です。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>country-code</i>—? と入力すると、システム定義コードのリストが表示されます。デフォルト: US (米国)。</li> </ul>
ステップ 5	<b>network-locale</b> <i>network-locale-tag</i> [ <i>user-defined-code</i> ] <i>country-code</i> 例: <pre>Router(config-register-global)# network-locale 1 FR</pre>	トーンおよび断続周期の国を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>network-locale-tag</i>—ロケール識別子を国コードに割り当てます。範囲は0～4です。デフォルト:[0]。この引数は、デフォルト(0)以外の一部のロケールを定義する場合に必要です。</li> <li>• <i>country-code</i>—? と入力すると、システム定義コードのリストが表示されます。デフォルト: US (米国)。有効な任意の ISO 3166 コードをユーザ定義コード (U1～U5) に割り当てることができます。</li> </ul>
ステップ 6	<b>create profile</b> 例: <pre>Router(config-register-global)# create profile</pre>	SIP 電話機に必要なプロビジョニングファイルを生成し、ファイルを <i>tftp-path</i> コマンドで指定した場所へ書き込みます。
ステップ 7	<b>exit</b> 例: <pre>Router(config-telephony)# exit</pre>	音声登録グローバル構成モードを終了します。
ステップ 8	<b>voice register template</b> <i>template-tag</i> 例: <pre>Router(config)voice register template 10</pre>	音声登録テンプレート構成モードを開始して、Cisco Unified Cisco Mobility Express の SIP 電話機の共通パラメータのテンプレートを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 範囲 — 1～10。</li> </ul>
ステップ 9	<b>user-locale</b> <i>user-locale-tag</i> 例: <pre>Router(config-ephone-template)# user-locale 2</pre>	ユーザロケールをこの <i>ephone</i> テンプレートに割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>user-locale-tag</i>— <a href="#">ステップ 4 (31 ページ)</a> で作成されたロケールタグ。範囲は0～4です。</li> </ul>
ステップ 10	<b>network-locale</b> <i>network-locale-tag</i> 例: <pre>Router(config-ephone-template)# network-locale 2</pre>	ネットワークロケールをこの <i>ephone</i> テンプレートに割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>network-locale-tag</i>— <a href="#">ステップ 5 (32 ページ)</a> で作成されたロケールタグ。範囲は0～4です。</li> </ul>



	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	<b>exit</b> 例： Router(config-ephone-template)# exit	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 12	<b>voice register pool <i>pool-tag</i></b> 例： Router(config)#voice register pool 5	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。
ステップ 13	<b>voice register template <i>template-tag</i></b> 例： Router(config)voice register template 10	音声登録テンプレート構成モードを開始して、Cisco Unified Cisco Mobility Express の SIP 電話機の共通パラメータのテンプレートを定義します。  • 範囲 — 1 ~ 10。
ステップ 14	<b>exit</b> 例： Router(config-ephone)# exit	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 15	<b>voice register global</b> 例： Router(config)#voice register global	音声登録グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。
ステップ 16	<b>reset</b> 例： Router(config-register-global)# reset	DHCP サーバおよび TFTP サーバへの接続を含めて、コンフィギュレーション情報を最新にするため、すべての電話機または指定された電話機の完全なリブートを実行します。
ステップ 17	<b>end</b> 例： Router(config-register-global)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## SIP 電話機での複数のロケールの確認

**ステップ 1** **show voice register tftp-bind** コマンドを使用して、ディレクトリ、言語、およびトーン構成ファイルなどの TFTP を使用する IP Phone にアクセス可能な構成ファイルの一覧を表示します。

例：

```
Router#sh voice register tftp-bind
 tftp-server syncinfo.xml url system:/cme/sipphone/syncinfo.xml
 tftp-server SIPDefault.cnf url system:/cme/sipphone/SIPDefault.cnf
 tftp-server softkeyDefault_kpml.xml url system:/cme/sipphone/softkeyDefault_kpml
.xml
 tftp-server softkeyDefault.xml url system:/cme/sipphone/softkeyDefault.xml
 tftp-server softkey2_kpml.xml url system:/cme/sipphone/softkey2_kpml.xml
```

```
tftp-server softkey2.xml url system:/cme/sipphone/softkey2.xml
tftp-server featurePolicyDefault.xml url system:/cme/sipphone/featurePolicyDefault.xml
tftp-server featurePolicy2.xml url system:/cme/sipphone/featurePolicy2.xml
tftp-server SEPACA016FDC1BD.cnf.xml url system:/cme/sipphone/SEPACA016FDC1BD.cnf.xml
```

- ステップ 2** `show voice register template all` コマンドを使用して、各 Ephone テンプレートのユーザーロケール設定とネットワークロケール設定を確認します。
- ステップ 3** `show voice register pool all` コマンドを使用して、電話機に適用する正確なテンプレートを確認します。
- ステップ 4** 構成ファイルのロケーションが TFTP ではない場合、`debug tftp events` コマンドを使用して、Cisco Unified Cisco Mobility Express が探すファイルおよびファイルが検索されたか、ファイルが開かれたかを確認します。通常、「looking for x file」、「opened x file」および「finished x file」の3つの状態があります。3つのすべての状態が表示されている場合は、ファイルが見つかっています。外部 TFTP サーバの場合は、TFTP サーバのログを使用できます。

## ローカリゼーションの設定例

### 複数ユーザーおよびネットワークロケールの構成例

次の例では、デフォルトロケール0をドイツ語に設定する例を示します。これによって、ドイツ語がデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールとして定義されます。ephone テンプレートを使用して個々の電話機に別のロケールを適用しない限り、ドイツ語がすべての電話機で使用されます。

```
telephony service
  cnf-file location flash:
  cnf-file perphone
  user-locale 0 DE
  network-locale 0 DE
```

前のコマンドを使用してドイツ語をデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールとして定義した後、次のコマンドを使用してデフォルト値0をUSに戻します。

```
telephony service
  no user-locale 0 DE
  no network-locale 0 DE
```

ドイツ語をデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールとして定義するためのもう1つの方法は、次のコマンドを使用することです。

```
telephony service
  cnf-file location flash:
  cnf-file perphone
  user-locale DE
  network-locale DE
```

前のコマンドを使用した後、次のコマンドを使用してデフォルトをUSに戻します。

```
telephony service
  no user-locale DE
  no network-locale DE
```

次の例では、3つの代替ロケールとしてJP（日本）、FR（フランス）、およびES（スペイン）を定義します。ephone テンプレートを使用して適用された代替がないすべての電話機のデフォルトはUSです。この例では、ephone 11 がロケールにJPを使用し、ephone 12 がFR、ephone 13 がES、ephone 14 がデフォルトのUSを使用します。

```
telephony-service
  cnf-file location flash:
  cnf-file perphone
  create cnf-files
  user-locale 1 JP
  user-locale 2 FR
  user-locale 3 ES
  network-locale 1 JP
  network-locale 2 FR
  network-locale 3 ES
  create cnf-files

ephone-template 1
  user-locale 1
  network-locale 1

ephone-template 2
  user-locale 2
  network-locale 2

ephone-template 3
  user-locale 3
  network-locale 3

ephone 11
  button 1:25
  ephone-template 1

ephone 12
  button 1:26
  ephone-template 2

ephone 13
  button 1:27
  ephone-template 3

ephone 14
  button 1:28
```

## ユーザー定義ロケールの構成例

次の例は、中国語（繁体字）用のZHとして定義された、コードU1に割り当てられたuser-locale tag 1を示しています。システムで中国語（繁体字）は事前定義されていないため、適切なXML ファイルをダウンロードしてこの言語をサポートする必要があります。

この例では、ephone 11 が中国語（繁体字）（ZH）を使用し、ephone 12 がデフォルトの米国英語を使用します。ephone テンプレートを使用して適用された代替がないすべての電話機のデフォルトは米国英語です。

```
telephony-service
  cnf-file location flash:
  cnf-file perphone
  user-locale 1 U1 ZH
  network-locale 1 U1 CN
```

```

ephone-template 2
  user-locale 1
  network-locale 1

ephone 11
  button 1:25
  ephone-template 2

ephone 12
  button 1:26

```

## ユーザー定義ロケールとしての中国語の構成例

次は、Cisco Unified Cisco Mobility Express で、中国語をユーザー定義ロケーションとして構成する場合の、**user-locale** コマンドからの出力例です。

```

Router(config-register-global)# user-locale U1 load chinese.pkg
Updating CNF files

LOCALE INSTALLER MESSAGE: VER:1
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Langcode:zh
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Language:Chinese
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-font.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-kate.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: mk-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: td-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7921-font.dat
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7921-kate.utf-8.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7921-kate.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary.utf-8.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary-ext.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7921-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g3-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: utf8_tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: New Locale configured

Processing file:flash:/its/user_define_1_tags_file

Processing file:flash:/its/user_define_1_utf8_tags_file

CNF-FILES: Clock is not set or synchronized, retaining old versionStamps
CNF files updating complete

```

## システム定義ロケールとしてのスイス語の構成例

次は、Cisco Unified Cisco Mobility Express でシステム定義ロケールをスウェーデン語に設定した場合の **user-locale** コマンドの出力例です。

```

Router(config-register-global)# user-locale SE load swedish.pkg
Updating CNF files

```

```
LOCALE INSTALLER MESSAGE: VER:1
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Langcode:se
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Language:swedish
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g3-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: gp-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: ipc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: mk-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: td-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: New Locale configured

CNF-FILES: Clock is not set or synchronized, retaining old versionStamps
CNF files updating complete
```

## SCCP 電話機のロケールインストーラの構成例

### すべての電話機に適用されるデフォルトがシステム定義ロケール

次は、Cisco Unified Cisco Mobility Express に対してシステム定義ロケールが構成され、ロケールが、デフォルトロケール指数（`user-locale-tag 0`）に存在している場合の `user-locale` コマンドの出力例です。`user-locale-tag` 引数は、複数のロケールを使用する場合にだけ必要です。それ以外の場合に使用すると、指定された言語がすべての SCCP 電話機に適用されるデフォルトになります。

```
Router(config-telephony)# user-locale SE load CME-locale-sv_SV-7.0.1.1a.tar

Updating CNF files

LOCALE INSTALLER MESSAGE: VER:1
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Langcode:se
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Language:swedish
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g3-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: gp-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: ipc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: mk-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: td-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: New Locale configured

CNF-FILES: Clock is not set or synchronized, retaining old versionStamps
CNF files updating complete
Router(config-telephony)# create cnf-files
Router(config-telephony)# ephone 3
Router(config-ephone)# reset
```

### すべての電話機に適用されるデフォルト言語がユーザー定義ロケール

次は、Cisco Unified Cisco Mobility Express に対してユーザー定義ロケールが構成され、ロケールが、デフォルトロケール指数（`user-locale-tag 0`）に存在している場合の `user-locale` コマンドの出力例です。`user-locale-tag` 引数は、複数のロケールを使用する場合に必要です。それ以外の場合に使用すると、指定された言語がすべての SCCP 電話機に適用されるデフォルトになります。

```

Router(config-telephone)# user-locale U1 load CME-locale-xh_CN-7.0.1.1.tar
Updating CNF files
LOCALE INSTALLER MESSAGE: VER:1
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Langcode:fi
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Language:Finnish
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-kate.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7920-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-font.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-kate.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: mk-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: td-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: utf8_tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g3-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary.utf-8.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: ipc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: gp-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: New Locale configured

Processing file:flash:/its/user_define_2_tags_file

Processing file:flash:/its/user_define_2_utf8_tags_file

CNF-FILES: Clock is not set or synchronized, retaining old versionStamps
CNF files updating complete

Router(config-telephony)# create cnf-files
Router(config-telephony)# ephone 3
Router(config-ephone)# reset

```

## 非デフォルト ロケール インデックスでロケール

次の例は、ユーザー定義ロケールを Cisco Unified Cisco Mobility Express の特定の SCCP 電話機（ephone 1）の代替ロケールとして構成した場合の **user-locale** コマンドからの出力を示しています。 *user-locale-tag* 引数は、複数のロケールが使用されている場合のみ必要です。このコンフィギュレーションでは、ユーザ ロケール インデックス 2 のロケールがユーザ定義のフィンランド語（U2）です。

```

Router(config-telephony)# user-locale 2 U2 load CME-locale-fi_FI-7.0.1.1.tar

Updating CNF files

LOCALE INSTALLER MESSAGE: VER:1
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Langcode:fi
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Language:Finnish
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7905-kate.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7920-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-font.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-kate.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: 7960-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: mk-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: td-sccp.jar

```

```

LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: utf8_tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g3-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary.utf-8.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: SCCP-dictionary.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: ipc-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: gp-sccp.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: New Locale configured

Processing file:flash:/its/user_define_2_tags_file

Processing file:flash:/its/user_define_2_utf8_tags_file

CNF-FILES: Clock is not set or synchronized, retaining old versionStamps
CNF files updating complete

Router(config-telephony)# ephone-template 1
Router(config-ephone-template)# user-locale 2
Router(config-ephone-template)# ephone 1
Router(config-ephone)# ephone-template 1
The ephone template tag has been changed under this ephone, please restart or reset
ephone to take effect.
Router(config-ephone)# telephony-service
Router(config-telephony)# create cnf-files
Router(config-telephony)# ephone 1
Router(config-ephone)# reset

```

## SIP 電話機での複数のユーザーロケールとネットワークロケールの構成例

次の例では、デフォルトロケール0をドイツ語に設定する例を示します。これによって、ドイツ語がデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールとして定義されます。ephone テンプレートを使用して個々の電話機に別のロケールを適用しない限り、ドイツ語がすべての電話機で使用されます。

```

voice register global
    user-locale 0 DE
    network-locale 0 DE

```

前のコマンドを使用してドイツ語をデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールとして定義した後、次のコマンドを使用してデフォルト値0をUSに戻します。

```

voice register global
    no user-locale 0 DE
    no network-locale 0 DE

```

ドイツ語をデフォルトのユーザーロケールおよびネットワークロケールとして定義するためのもう1つの方法は、次のコマンドを使用することです。

```

voice register global
    user-locale DE
    network-locale DE

```

前のコマンドを使用した後、次のコマンドを使用してデフォルトをUSに戻します。

```
voice register global
  no user-locale DE
  no network-locale DE
```

#### SIP : 代替ロケール

次の例では、3つの代替ロケールとしてJP（日本）、FR（フランス）、およびES（スペイン）を定義します。ephone テンプレートを使用して適用された代替がないすべての電話機のデフォルトはUSです。この例では、ephone 11 がロケールに JP を使用し、ephone 12 が FR、ephone 13 が ES、ephone 14 がデフォルトの US を使用します。

```
voice register global
  create profile
  user-locale 1 JP
  user-locale 2 FR
  user-locale 3 ES
  network-locale 1 JP
  network-locale 2 FR
  network-locale 3 ES
  create profile

voice register template 1
  user-locale 1
  network-locale 1

voice register template 2
  user-locale 2
  network-locale 2

voice register pool 1
  number 1 dn 1
  template 1
  user-locale 3
  network-locale 3

voice register pool 2
  number 2 dn 2
  template 2

voice register pool 6
  number 3 dn 3
  template 3
```

## SIP 電話機でのロケールインストーラの構成例

次の例では、ロケールインストーラが、権限 EXEC 構成モードで **copy** コマンドを使用してロケールファイルをコピーするだけで Cisco Unified SIP IP Phone でロケールを構成できることを示しています。またこの例は、ロケールファイルが /its ディレクトリにコピーされたことも示しています。

```
Router# copy tftp://100.1.1.1/CME-locale-de_DE-German-8.6.3.0.tar
flash:/its
Destination filename [/its/CME-locale-de_DE-German-8.6.3.0.tar]?
Router# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Router(config)# voice register global
Router(config-register-global)# user-locale DE load
```



```

CME-locale-de_DE-German-8.6.3.0.tar
LOCALE INSTALLER MESSAGE (SIP):Loading Locale Package...
LOCALE INSTALLER MESSAGE: VER:3
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Langcode:de_DE
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Language:German
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g3-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: utf8_tags_file
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: gd-sip.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: gh-sip.jar
LOCALE INSTALLER MESSAGE: Filename: g4-tones.xml
LOCALE INSTALLER MESSAGE: New Locale configured
Router(config-register-global)#

```

## 次の作業

### ephone テンプレート

ephone テンプレートの詳細については、「[テンプレート](#)」を参照してください。

## ローカリゼーションサポートの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 10: ローカリゼーションサポートの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
Cisco Unified SIP IP Phone のローカリゼーションの機能拡張	10.5	Cisco Unified Cisco Mobility Express 10.5 は、追加の言語のサポートを提供します。
Cisco Unified SIP IP Phone のローカリゼーションの機能拡張	9.0	SIP IP Phone のローカリゼーションサポートが、次のように拡張されています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified 6941 および 6945 SIP IP Phone のローカリゼーションサポート。</li> <li>• すべての Cisco Unified SIP IP Phone に対して 1 つの手順をサポートするロケール インストラ。</li> </ul>

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
ローカリゼーションの機能拡張	8.8	Cisco Unified 3905 SIP および Cisco Unified 6945、8941、および 8945 SCCP IP Phone のローカリゼーションサポートが追加されました。
使いやすさの向上	8.6	SIP IP Phone のローカリゼーションサポートが追加されました。
Cisco Unified Cisco Mobility Express の使いやすさの向上	7.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すべての SCCP IP Phone に対して 1 つの手順をサポートするロケールインストーラ。</li> <li>• ファームウェアロードテキストファイルを解析し、ローカリゼーションに必要な TFTP エイリアスを自動的に作成。</li> <li>• Cisco Unified CME 7.0 以前のバージョンのコンフィギュレーション方式との下位互換性。</li> </ul>
複数のロケール	4.0	複数のユーザロケールとネットワークロケールが導入されました。
ユーザー定義ロケール	4.0	ユーザー定義のロケールが導入されました。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。